

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名	都市再生部 松戸駅周辺整備振興課 新拠点ゾーン整備担当室								
部長	審議監	審議監	課長	室長	補佐	班	班	設計者	設計審査
工事名	主2-68号防護柵設置工事								
工事場所	松戸市岩瀬550番地先								
事業年度	令和 8 年度								
工事価格	円								
請負工事費計	円								

設
計
説
明

防護柵設置工 一式

単価適用日 2026年4月2日

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
		土工		式	1			第 1 号内訳書参照
		舗装工		式	1			第 2 号内訳書参照
		防護柵設置・撤去工		式	1			第 3 号内訳書参照
		仮設工		式	1			第 4 号内訳書参照
	直接工事費計			式	1			
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
	工事原価			式	1			

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		一般管理費等		式	1			
	工事価格			式	1			
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計				式	1			

第 1 号内訳書 土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アスファルト削孔	φ 60.5 支柱用	孔	33			第 1 号単価表参照
アスファルト削孔	φ 114.3 支柱用	孔	47			第 2 号単価表参照
舗装版切断		m	12			第 3 号単価表参照
舗装切断排水運搬処理工	処分費含む	m ³	0.02			第 4 号単価表参照
舗装版破碎積込 (小規模土工)		m ²	8			第 5 号単価表参照
As廃材運搬処分	機械積込 処分費含む	m ³	0.3			第 6 号単価表参照
床掘り		m ³	0.7			第 7 号単価表参照
路盤廃材運搬処分		m ³	0.05			第 8 号単価表参照
埋戻し		m ³	0.6			第 9 号単価表参照
建設発生土運搬処分		m ³	0.07			第 10 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 舗装工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層		m2	0.5			第 11 号単価表参照
下層路盤 (歩道部)		m2	0.5			第 12 号単価表参照
表層 (歩道部)		m2	0.5			第 13 号単価表参照
透水性アスファルト舗装		m2	7			第 14 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 防護柵設置・撤去工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防護柵（横断・転落防止柵）撤去工	（モルタル充填含む）	m	3			第 15 号単価表参照
防護柵設置工	曲線部	m	32			第 16 号単価表参照
防護柵設置工	直線部	m	47			第 17 号単価表参照
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式 曲線部	m	27			第 18 号単価表参照
防護柵（横断・転落防止柵）設置工	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式 直線部	m	58			第 19 号単価表参照
道路付属物設置工	（視線誘導標、反射テープ設置）	本	12			第 20 号単価表参照
計						

第 4 号内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日	28			第 21 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

アスファルト削孔

φ 60.5 支柱用

100 孔 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ダイヤモンドビット	64.7mmスタンダード	個	2			
コンクリート穿孔機	最大穿孔径25cm	日				第 22 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	100 孔 当り					
	1 孔 当り					

SWB435110

J01 適用削孔径 = 1

60を超え64mm未満

第 2 号 単価表

アスファルト削孔

φ114.3 支柱用

100 孔 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ダイヤモンドビット	128.5mm スタンダード	個	2			
コンクリート穿孔機	最大穿孔径25cm	日				第 22 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	100 孔 当り					
	1 孔 当り					

SWB435110

J01 適用削孔径 = 5

110以上128mm未満

第 3 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 3 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り 2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1
J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 4 号 単価表

舗装切断排水運搬処理工

処分費含む

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
汚泥運搬		m3	1			第 23 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 5 号 単価表

舗装版破碎積込 (小規模土工)

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ (クローラ) [標準]	排出ガス対策型 (第2次基準) 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 6 号 単価表

As廃材運搬処分

機械積込
処分費含む

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 24 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 7 号 単価表

床掘り

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1

土砂

J02 施工方法 = 6

現場制約あり

第 8 号 単価表

路盤廃材運搬処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 25 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			
計	1 m3 当り					

第 9 号 単価表

埋戻し

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210410

J01 施工方法 = 6
J03 締固めの有無 = 1

現場制約あり
有り

J02 土質 = 1

土砂

第 10 号 単価表

建設発生土運搬処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 26 号単価表参照
建設発生土処理費		m3	1			AF80038
計	1 m3 当り					

第 11 号 単価表

フィルター層

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]	運転質量3~4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
砂(フィルター材)	透水性舗装用(シルト分6%以下)	%	Z1			

第 11 号 単価表

フィルター層

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

第 12 号 単価表

下層路盤（歩道部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 12 号 単価表

下層路盤 (歩道部)

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 100

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工

全ての費用

第 13 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量0.5~0.6t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量40~60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 13 号 単価表

表層 (歩道部)

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生密粒度アスコン (1 3)
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 40
 J06 瀝青材料種類 = 5 無し

第 14 号 単価表

透水性アスファルト舗装

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト混合物	開粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 14 号 単価表

透水性アスファルト舗装

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410660

J01 平均幅員 = 1
 J04 材料 = 1

1. 4m未満
 開粒度アスコン (13)

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 40

第 15 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）撤去工

（モルタル充填含む）

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵撤去工 土中 建込用	ビーム式・パネル式 R7月単位現場閉所	m	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SWB810770

J01 施工区分 = 1	土中建込	J02 防護柵種類 = 1	ビーム式・パネル式
J03 支柱間隔 = 4	3m	J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 有	
J05 夜間作業の補正 = 1	無		

第 16 号 単価表

防護柵設置工

曲線部

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードパイプ設置工 土中建 込用	Gp-Cp-2E 塗装 R7月単位現場閉所	m	1			
ガードパイプ		m	1			
ガードパイプ	Gp-Cp-2E ダークブラウン塗装 土中式 曲げ加工有	m	1			見積
諸雑費 (丸め)		式	1			
計	1 m 当り					

第 17 号 単価表

防護柵設置工

直線部

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードパイプ設置工 土中建 込用	G p - C p - 2 E 塗装 R7月単位現場閉所	m	1			
ガードパイプ 歩車道境界用	G P - C P - 2 E 土中建込 塗装	m	1			
ガードパイプ	Gp-Cp-2E ダークブラウン塗装 土中式 直線部	m	1			見積
諸雑費 (丸め)		式	1			
計	1 m 当り					

第 18 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）設置工

AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式
曲線部

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工 土中 建込用	ビーム式・パネル式 R7月単位現場閉所	m	100			
横断防止柵	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式 曲線部	m	100			見積
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 19 号 単価表

防護柵（横断・転落防止柵）設置工

AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式
直線部

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工 土中 建込用	ビーム式・パネル式 R7月単位現場閉所	m	100			
横断防止柵	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式	m	100			見積
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

第 20 号 単価表

道路付属物設置工

(視線誘導標、反射テープ設置)

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
視線誘導標設置工 防護柵取付用	両面反射 φ100以下 バンド式 R7月単位現場閉所	本	1			
視線誘導標 防護柵 両面	反射体 径100以下 バンド式	本	1			
視線誘導標	φ ダークブラウン	本	1			見積
反射テープ	W50mm 黄	枚	1			見積
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1本 当り					

第 21 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 22 号 単価表

コンクリート穿孔機

最大穿孔径25cm

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート穿孔機[電動式コアボアリングマシン]	最大穿孔径 2 5 c m	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SK2015004

J01 機械使用条件コード = 1

J03 機械損耗部品補正 = 1

J05 交替制による割増し = 1

J07 基礎価格補正 = 1

J09 運転日当り運転時間[時間] = 0

普通

交替制を適用しない

しない

J02 岩石割増しコード = 1

J04 供用日当り運転日数[日] = 0

J06 異常補正 = 0

J08 輸送補正 = 1

岩石工の割増対象にしない

しない

第 23 号 単価表

汚泥運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7
 J04 DID区間の有無 = 2

人力
 有り

第 24 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3
 J03 DID区間の有無 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
 有り
 全ての費用

J02 積込工法区分 = 4 機械積込 (小規模土工)
 J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 24.0km以下

第 25 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J16 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 15.0km以下

J02 積込機種・規格 = 6
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.13m3 (平積0.1m3)
 有り

第 26 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J16 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 24.0km以下

J02 積込機種・規格 = 6
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.13m3 (平積0.1m3)
 有り

主2-68号防護柵設置工事

工 種	形 状 寸 法	単 位	数 量	積 算 数 量
主2-68号防護柵設置工事				
1) 土工				
アスファルト削孔	φ60.5支柱用	孔	33	33
アスファルト削孔	φ114.3支柱用	孔	47	47
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	11.9	12
舗装切断排水運搬処理工	処分費込み	m	0.02	0.02
舗装版切断破砕積込	小規模土工	m ²	7.6	8
As廃材運搬処分	処分費込み	m ²	0.32	0.3
床掘り	土砂 現場制約あり	m ²	0.65	0.7
路盤廃材運搬処分	処分費込み	m ²	0.048	0.05
埋戻し	現場制約あり	m ²	0.58	0.6
発生日運搬処分	処分費込み	m ²	0.072	0.07
2) 舗装工				
フィルター層	透水性舗装用 仕上り厚50mm	m ²	0.48	0.5
下層路盤 (歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚100mm	m ²	0.48	0.5
表層 (歩道部)	再生密粒度アスコン (13) 舗装厚40mm 平均幅員1.4m未満	m ²	0.48	0.5
透水性アスファルト舗装	開粒度アスコン (13) 舗装厚40mm 平均幅員1.4m未満	m ²	7.14	7
3) 防護柵設置・撤去工				
防護柵 (横断・転落防止柵) 撤去工	モルタル充填込み	m	3.0	3
防護柵設置工	Gp-Cp-2E ダークブラウン塗装 土中式 曲線部	m	32.0	32
防護柵設置工	Gp-Cp-2E ダークブラウン塗装 土中式 直線部	m	47.0	47
防護柵 (横断・転落防止柵) 設置工	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式 曲線部 材料込み	m	27.0	27
防護柵 (横断・転落防止柵) 設置工	AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式 直線部 材料込み	m	57.5	58
道路付属物設置工	視線誘導標 (親子バンド式 両面反射角度付き ダークブラウン塗装) 反射テープ (W50 黄) 設置込み	本	12	12
4) 仮設工				
交通誘導警備員B	昼間	人日	28	28

契約条件明示及び特記仕様書

主 2 - 6 8 号防護柵設置工事

1. 一般事項

1-1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「主 2 - 6 8 号防護柵設置工事」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書に定めのない事項については、千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1-2 目的

本工事の目的は、通学路指定がされている当該道路を利用する通学児童及び、道路利用者が安全に道路を通行するために必要な安全施設を構築することにある。

請負者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1-3 工事場所

松戸市 岩瀬 550番 地先（別紙案内図参照）

1-4 工事期間

契約締結の翌日 ～ 令和 8 年 1 1 月 3 0 日

1-5 施工計画書

1. 施工計画書は、千葉県土木工事共通仕様書（1-1-4）に基づき工事着手前に監督職員に提出しなければならない。
2. 仮設物を設ける場合は、詳細を施工計画書に明示しなければならない。
3. 計画書作成において、設計内容等に疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

1-6 使用材料

請負者は、工事完成に必要とされる主要な使用材料について、その品質・性能を確認するための資料を事前に監督職員に提出しなければならない。

1-7 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

1-8 工事着手前の確認

1. 請負者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 請負者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知（工事の事前説明を含む）を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。なお交渉や苦情処理をした場合は、記録をとり速やかに監督職員へ報告しなければならない。
3. 請負者は、車両通行止めにて工事を実施する際、車両の迂回計画を近隣住民へ事前

に図面（迂回計画図）等により十分に周知し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。

4. 既設の埋設物及び架空線等については、請負者において十分調査し、必要に応じて企業者等の立会のうえ調査を実施し、その結果を書面にて監督職員に報告すること。

また、このことにより設計内容に変更を伴う場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

5. 請負者は、工事施工区間内に街区基準点等が確認された場合、本市建設総務課との協議を実施し、必要な申請書類を提出しなければならない。

6. 既存の構造物、その他を撤去し、取り壊す場合は、関係者立会のうえ承諾を得ること。また、現況の写真撮影、測量等の記録をした後、施工すること。

7. 請負者は、工事の施工にあたり、移動・損傷を受ける恐れのある境界杭または障害となる杭については、施工前に写真を残し、設置換え、移設及び復元を含めた適切な措置を講じなければならない（隣接、住宅地外壁も含む）

1-9 施工

1. 防護柵等の設置及び基準については、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（昭和35年総理府建設省令）及び「防護柵の設置基準」（平成28年12月社団法人日本道路協会）に基づき施工すること。

2. 請負者は、設計図書に明記されていない事項については、監督職員立会のうえ確認するものとする。

3. 設置位置については、着手前に現場状況を考慮した配置計画図の作成及び現場にて位置だしを行い、監督職員の確認を受けること。

なお、防護柵設置箇所に面する家屋については、出入口等に影響を及ぼす可能性があるため、施工前に住民へ意向の確認をすることを考えている。それにより防護柵設置数量が増減する際は契約変更にて対応するものとする。

4. 舗装復旧は「松戸市管理道路の舗装復旧図集」に準じ施工すること。

1-10 その他

1. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。

ただし、臨時にして巨額なものは除く。

2. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工していないときにも危険のないよう努めなければならない。

3. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し必要に応じてフォローアップを実施するとともに毎月工程表を作成し報告書を提出しなければならない。

4. 工事に伴う借地は、請負者にて行き返還時は原形復旧し、地権者の確認書を竣工時に提出すること。

5. 請負者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項に

ついて、施工計画書に明記して提出することができる。

6. 近隣に小学校や中学校があることを考慮し施工すること（可能な限り夏休み期間中の作業や通学時間を避けた作業となるような施工計画とすること）。

2. 交通安全管理について

2-1 一般

1. 本工事は昼間作業（9:00～17:00）を原則とする。作業時間帯等については、交通管理者の道路使用許可条件を順守すること。なお、作業時間には準備及び後片付けも含むとする。
2. 交通規制を伴う作業の交通整理員は、1日2名以上の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
3. 第三者に関しての安全施設等は十分考慮し、対策を行わなければならない。また、作業帯は保安施設等で囲い、立入防止等の安全措置を行うこと。
4. 道路開放時は、道路状態を十分把握し通行者等に危険がないよう、安全管理に努めること。特に、路面清掃等には十分留意すること。
5. 交通規制は、周辺工事及び地元との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通（通行人を含む）等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
6. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
7. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。また、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。なお、道路上に設置せざるを得ない場合は、事前に監督職員と協議すること。

3. 環境対策について

3-1 環境対策

1. 請負者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 請負者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示に従わなければならない。また、第三者からの環境に関する苦情に対しては、誠意をもって対応にあたり、その内容は、文書にて明確

にしておくとともに、随時監督職員に報告し、その指示に従うものとする。

3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

4. 建設副産物について

4-1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

4-2. 建設発生土

建設発生土は、千葉県柏市岩井 296-1 地先、片道運搬距離 16.8 kmの株式会社エスプロックに搬出するものとする。

4-3. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材 (0.05m³) は、柏市高田 1116-32 地先、片道運搬距離 14.5 kmの(株)丸昭建材に運搬し、処理するものとする。

4-4. 建設廃棄物

本工事により発生するアスファルト塊 (0.3m³) は、市川市下妙典 1153-1 地先、片道運搬距離 16.9 kmの進榮建設興業(株)に運搬し、処理するものとする。

本工事により発生する建設汚泥及び廃アルカリ混合物 (0.02m³) は、八千代市吉橋字内野 1075-9 地先、片道運搬距離 20.3 kmの千葉丸辰道路(株)に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

5. 工事实績情報作成、登録 (旧工事カルテ作成、登録) について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

6. 週休 2 日制適用工事（現場閉所による週休 2 日工事）について

本工事は、週休 2 日制適用工事である。

受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）達成相当の経費を補正している。

受注者が、工事着手前に完全週休 2 日の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休 2 日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。

週休 2 日制の実施にあたっては「松戸市建設工事週休 2 日制適用工事实施要領」に基づき行うこと。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

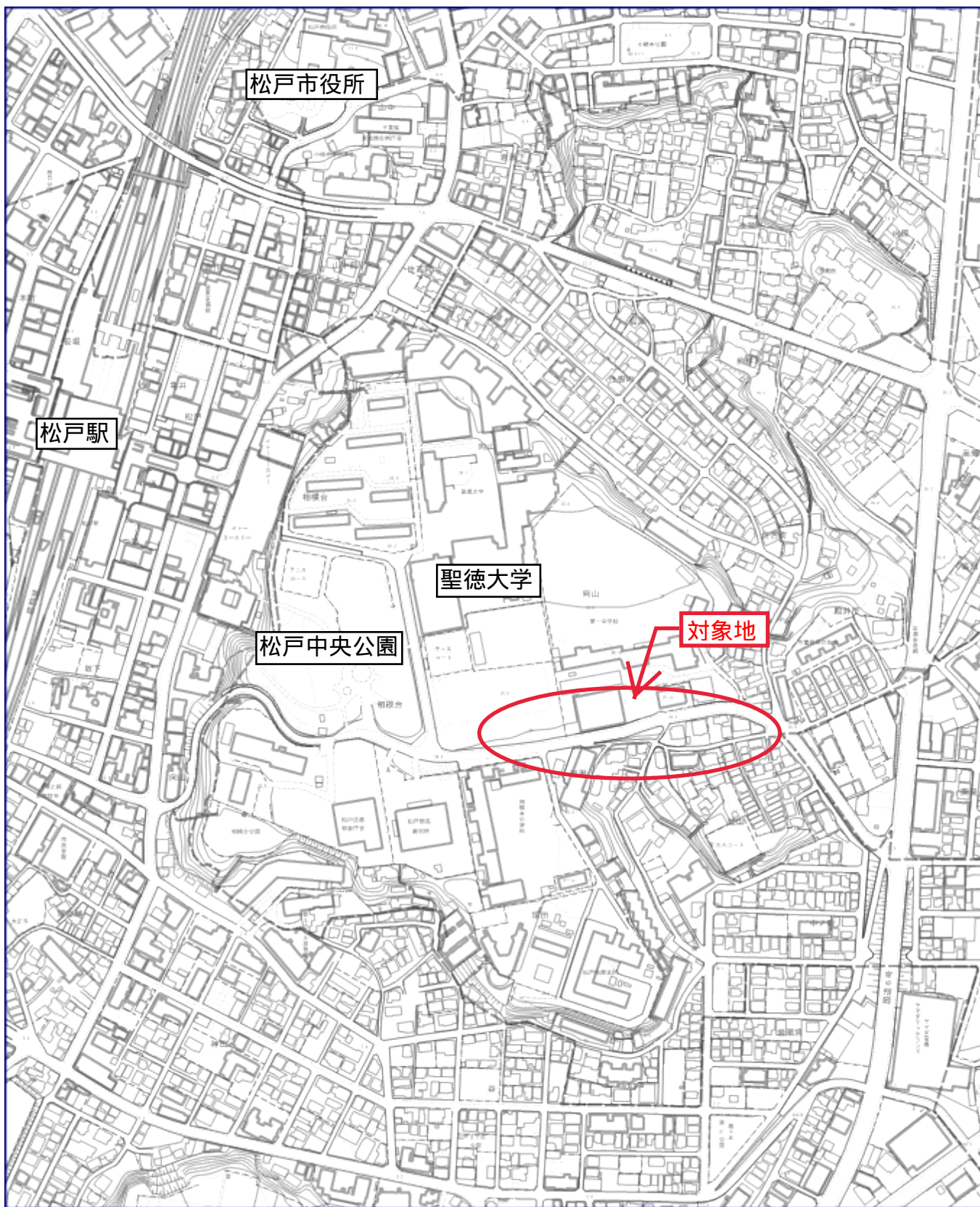
8. 補償・事故について

1. 請負者は、工事中事故があったときはただちに所要の措置を講ずるとともに事前に作成された緊急連絡方法により通報（連絡）し、事故発生の原因経過および被害内容等について報告する。
2. 請負者は、工事において家屋その他の工作物等につき第三者に与えた影響がその日常生活上、また営業上に著しい支障を生じたときは、請負者の負担で応急措置を講じ、その内容を報告する。
3. 請負者は、沿道（周辺も含む）家屋等の事前調査を請負者の負担で行うものとする。
4. 請負者は、工事施工について第三者に損害を及ぼしたときは、その賠償の責を負うものとする。
5. 請負者は、補償（賠償）が完了するまで誠意をもって処理にあたり第三者に対しては連絡場所を明確にしておくこと。

参 考 工 程 表

工事名	主2-68号防護柵設置工事				工 期	自 契約の翌日から		施 行 者	松戸市				
工事場所	松戸市岩瀬550番地先					至 令和8年11月30日			都市再生部 松戸駅周辺整備振興課				
月 日	令和8年												
項 目	7月	8月	9月	10月	11月								
準備期間	■												
試掘工		■											
防護柵設置・撤去工			■										
舗装工			■										
後片付け				■									

案内図



縮尺 1/5000

0 200m

※敷地の境界、都市計画などの内容を証明するものではありません。

平面図

S=Free

第一中学校

横断防止柵設置 L=84.5m (R加工 27.0m 含む)

AR-TMS-8E ダークブラウン塗装 土中式

試掘 400×400×1400 3箇所

舗装復旧工 7.14㎡

L=9.0m
(内 6m は R加工)

L=18.0m
(内 3m は R加工)

L=18.0m
(R加工)

L=30.5m

L=8.0m
(R加工)

L=13.0m
(R加工)

L=11.0m
(R加工)

L=14.0m

L=22.0m

L=11.0m

ガードパイプ設置 L=79.0m(R加工 32.0m 含む)

Gp-Cp-2E ダークブラウン塗装 土中式

岩瀬

離山

相模台小学校

松戸簡易
裁判所

プール

テニスコート

令和8年度

工事名称	主 2-68 号防護柵設置工事
工事場所	松戸市岩瀬 550 番地先
図面種別	防護柵設置工平面図
松戸市 都市再生部 松戸駅周辺整備振興課	

平面図

S=Free

第一中学校

テニス
コート

市営相模台住宅

殿井

NO. 47

プール

25.8

20.8

模台

24

23.2

26.4

24.6

L=3.0m

横断防止柵撤去 L=3.0m

岩瀬

15.2

相模台小学校

24.4

離山

松戸簡易
裁判所

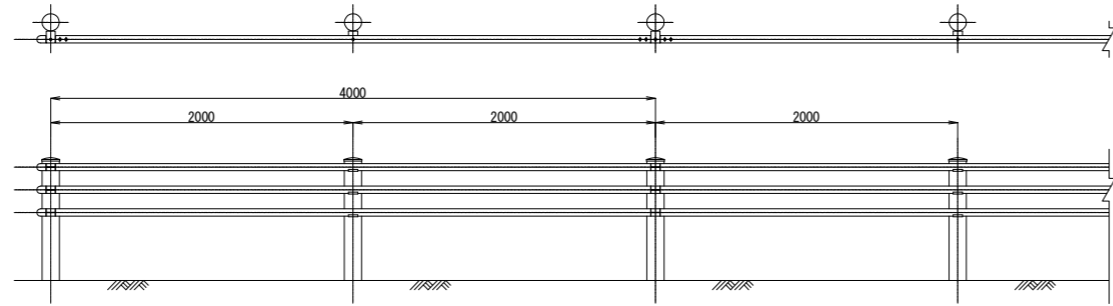
テニスコート

プール

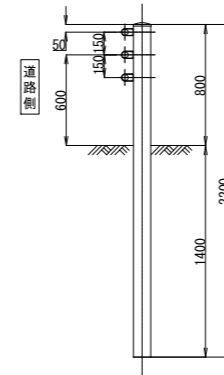
令和8年度	
工事名称	主 2-68号防護柵設置工事
工事場所	松戸市岩瀬550番地先
図面種別	防護柵撤去工平面図
松戸市 都市再生部 松戸駅周辺整備振興課	

ガードパイプ (S:1/50)
Gp-Cp-2E ダークブラウン

標準平面図



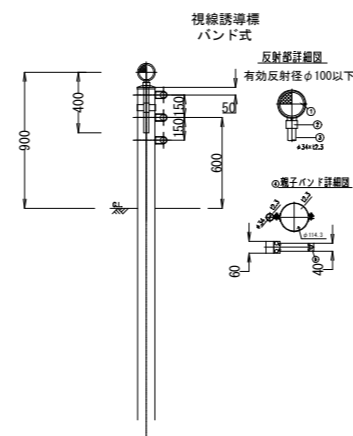
断面図



※ガードパイプにおいては、両端の支柱に反射テープ1か所と親子バンド式視線誘導標の設置をすること

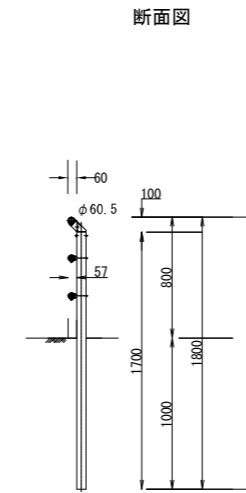
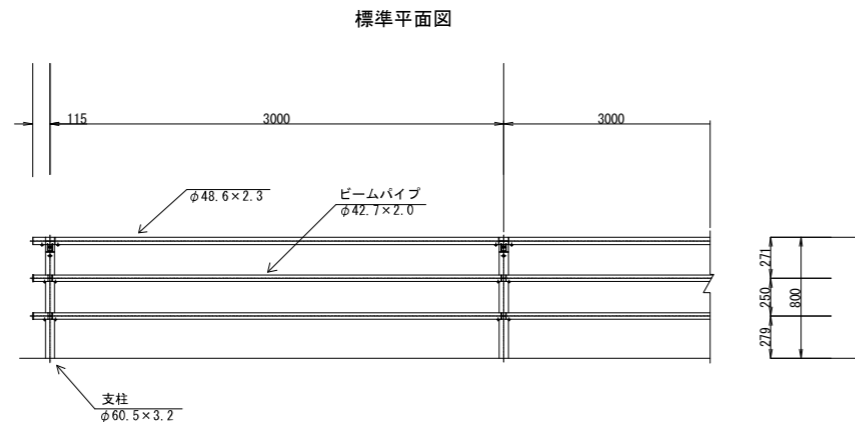
※歩道幅1.5m以上、歩行幅1.2m以上を確保

視線誘導標 (S:1/50)
親子バンド式 両面反射角度付き ダークブラウン塗装



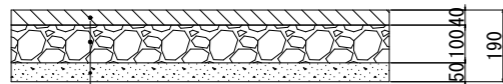
令和8年度	
工事名称	主2-68号防護柵設置工事
工事場所	松戸市岩瀬550番地先
図面種別	各種標準図
縮尺	1:50
松戸市 都市再生部 松戸駅周辺整備振興課	

横断防止柵 (S:1/50)
AR-TMS-8E ダークブラウン



※歩道幅1.5m以上、歩行幅1.2m以上を確保

歩道仮復旧工 (一般部) (S:1/20)
標準舗装構成図

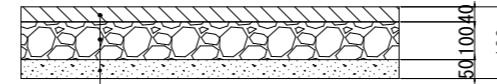


表層：再生密粒度(13mm) t= 4cm

路盤：再生クラッシュラン(0~40) t=10cm

砂 (フィルター層) t=5cm

歩道本復旧工 (一般部) (S:1/20)
標準舗装構成図



表層：開粒度(13mm) t= 4cm

路盤：再生クラッシュラン(0~40) t=10cm

砂 (フィルター層) t=5cm

令和8年度	
工事名称	主2-68号防護柵設置工事
工事場所	松戸市岩瀬550番地先
図面種別	各種標準図
縮尺	1:50、1:20
松戸市 都市再生部 松戸駅周辺整備振興課	